

## 講師プロフィール

### ロルフ・シュトリッカー Rolf Stricker 氏

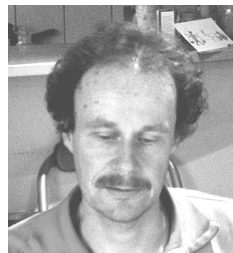
スイス連邦チューリッヒ州 フォレスター(森林官)

チューリッヒ州内第3地区に所属する13人のフォレスターの1人で20年の経験を持つベテラン。

人件費が世界一高いスイスではこの20年間に木材価格が半減し、補助金もほとんどなくなっているが、彼の担当区は黒字経営を続けている。理論(合理性)、直感(ひらめき)、経験(ノウハウ)などを兼ね備えた驚異の森林経営能力を持つ。

また、木質バイオマスの利用についても早くから先鞭をつけ、地域暖房施設の燃料を重油からチップに替えて、重油価格高騰のおり経費削減に貢献した。

今回は生態系に配慮しつつ経済性を追求する森林経営のノウハウを伝授する。



### 長谷川 明子氏

名古屋市生物多様性アドバイザー・愛知県生物多様性キャラバンセミナーアドバイザー  
ビオトープを考える会会長、1級ビオトープ計画管理士  
大同大学・愛知学泉大学非常勤講師  
佐渡 伝統文化と環境福祉の専門学校(SADO) 講師他  
1級ビオトープ計画管理士として、研究・講演活動に従事しつつ、五感をトレーニングしながら自然を保全する方法等について講義を行う。

今回は10月に行われるCOP10に参加した立場から最新情報の報告と解説をする。



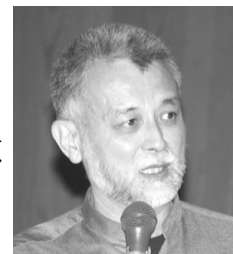
### 山脇 正俊氏

スイス近自然学研究所代表(スイス・チューリッヒ州在住)  
北海道工業大学客員教授、SADO 専門学校 ユニバーサルアドバイザー、スイス連邦工科大学・チューリッヒ州立総合大学講師

スイスとドイツで70年代に始まった環境と人間の双方に配慮した「近自然川づくり」に出会い、以後「近自然学」を確立し、その原理と応用の研究を進めている。

「近自然」の考え方は、川づくりのほか、道づくりやまちづくり、エネルギー利用や農林水産業、教育、ビジネス、社会システムの分野にも応用されている。

今回は新たに提唱する「近自然森づくり」を紫波の森の中で解説する。



この事業は一部に緑の募金を使っています。

## 申込書 10月28日(木)必着!

【宛先】岩手・木質バイオマス研究会 FAX:019-635-8272 E-Mail:wbi@xg.main.jp  
紫波町環境課循環政策室 FAX:019-672-2311 E-Mail:kankyo@town.shiwa.iwate.jp

お名前	電話	FAX
ご住所	〒	
所属	E-Mail	
該当する項目にチェックしてください。		
<input type="checkbox"/> 現地研修会・講演会共に出席	<input type="checkbox"/> 現地研修会のみ出席	<input type="checkbox"/> 講演会のみ出席
現地研修会の集合場所	<input type="checkbox"/> JR 紫波中央駅前	<input type="checkbox"/> JA いわて中央本所

※JA いわて中央本所周辺には食事をすることはできません。車でしたら外食に行くこともできますが、それ以外の場合はあらかじめ昼食をご用意ください。

【問合せ先】 岩手・木質バイオマス研究会  
〒020-0861 盛岡市仙北 1-14-20 TEL&FAX/019-635-8272